



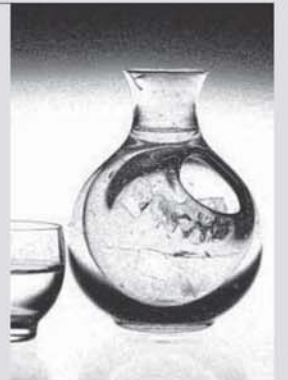
お酒について

知って



おきたいこと

未成年者に飲酒をさせない



お酒と上手に付き合うために

国税庁酒税課



# 未成年者に飲酒を勧めてはいけません

## 意外に多い家庭での飲酒体験

未成年者の飲酒が法律（未成年者飲酒禁止法）で禁止されていることはよく知られているとおりです。

それにもかかわらず、未成年者の飲酒問題は後を断ちません。厚生労働省の研究事業による全国調査のデータでも、高校生の約3割、中学生の約2割に飲酒の経験があることが示されています。

未成年者がお酒を飲むきっかけや機会はどんなところにあるのでしょうか？ 前述の調査によっても、冠婚葬祭や家族と一緒にいることが多いことが示されています。

さらに、親にお酒を勧められたことのある子どもの割合も多くなっています。

## 軽い気持ちは禁物






成長段階にある未成年者はアルコールを分解する能力が未完成なため、成人に比べ、飲酒によって心身に大きな悪影響を受けてしまいます。また、事故や事件を起こしたり、巻き込まれる危険性も高まります。

昔からの習慣で「お祝の席だから」「一杯くらいいいだろう」と軽い気持ちで飲酒させたことが、やがて重大な結果を招く可能性もあります。脳の機能が低下する、臓器障害やアルコール依存症を起こしやすくなることなど、飲酒が未成年者の心身に与える悪影響をきちんと教え、未成年者の健全な育成を図ること。それは大人の責任です。

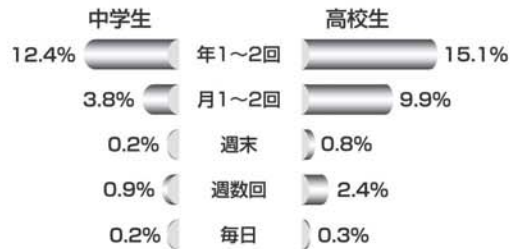
### \*大量飲酒が引き起こす障害

アルコールは胃や小腸で吸収されて血中に入り、肝臓で分解されますが、その間アルコールやアルコールの分解過程で生じた物質は血液を介して、全身をめぐる。過度の飲酒は肝臓に負担をかけ、脂肪肝、アルコール性肝炎、肝硬変などを起こすだけでなく、ほとんどの臓器に障害をもたらす、生活習慣病の原因となります。

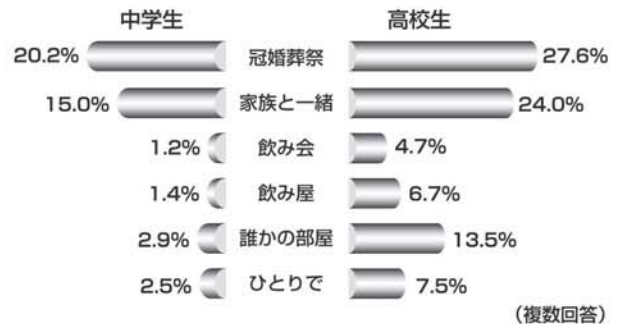
## 未成年者がお酒を飲んではいけない5つの理由

- ・脳の機能を低下させます 
- ・肝臓をはじめとする臓器に障害を起こしやすくなります 
- ・性ホルモンに異常が起きるおそれがあります 
- ・アルコール依存症になりやすくなります 
- ・未成年者を守るために飲酒を禁ずる法律があります 

### ●飲酒の状況



### ●飲酒経験のあった機会



### ●親に酒を勧められた経験の有無



※平成24年度「未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究」(厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)を基に国税庁算出

### 未成年者飲酒禁止法(抄)(大正11年3月30日 法律第20号)

#### 第一条【未成年者に対する飲酒の禁止】

- ① 満二十歳ニ至ラサル者ハ酒類ヲ飲用スルコトヲ得ス
- ② 未成年者ニ対シテ親権ヲ行フ者若ハ親権者ニ代リテ之ヲ監督スル者未成年者ノ飲酒ヲ知リタルトキハ之ヲ禁止スヘシ
- ③ 営業者ニシテ其ノ業態上酒類ヲ販売又ハ供与スル者ハ満二十歳ニ至ラサル者ノ飲用ニ供スルコトヲ知リテ酒類ヲ販売又ハ供与スルコトヲ得ス
- ④ 営業者ニシテ其ノ業態上酒類ヲ販売又ハ供与スル者ハ満二十歳ニ至ラサル者ノ飲酒ノ防止ニ資スル為年齢ヲ確認其ノ他ノ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

#### 第三条【罰則】

- ① 第一条第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ五十万円以下ノ罰金ニ処ス
- ② 第一条第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ処ス

(抜粋)



# お酒をたしなむ大人が お気をつけたいこと

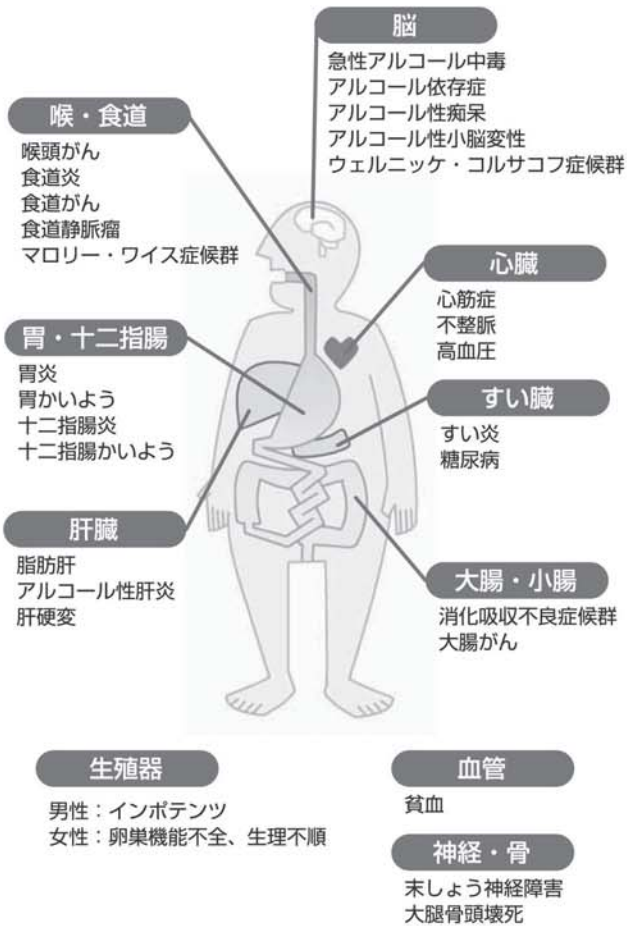
「百薬の長」と呼ばれるお酒も、飲み方や量を誤ると健康を害するだけでなく、時には生命の危険に関わることがあります。お酒をたしなむ方は、次のことに注意しましょう。

## 大量飲酒が引き起こす障害

過度の飲酒は肝臓に負担をかけ、脂肪肝、アルコール性肝炎、肝硬変などを起こすだけでなく、ほとんどの臓器に障害をもたらし、さまざまな病気の原因となります。



### ●大量飲酒が引き起こす臓器の障害



## イッキ飲みと急性アルコール中毒

飲酒によって体内に入ったアルコールは胃や小腸で吸収されて、血液中に入り、脳細胞に作用して「酔い」の状態をつくり出します。短時間に大量のお酒を飲むと、血中のアルコール濃度が急激に高まり、場合によっては呼吸中枢もマヒするなど危険な状態を引き起こします。これが急性アルコール中毒です。

死の危険がある急性アルコール中毒に直結するイッキ飲みは絶対するべきではありません。ご自分がしないのはもちろん、人にも決してさせないようにしましょう。

## 健康でお酒を楽しむために

適度にお酒を飲むことは、人とのコミュニケーションを円滑にしたり、ストレスをやわらげたりします。お酒を飲まれる場合は、「適正飲酒の10か条」を参考に、お酒を楽しんでいきましょう。

### 適正飲酒の10か条

- 1) 談笑し 楽しく飲むのが基本です
- 2) 食べながら 適量範囲でゆっくりと
- 3) 強い酒 薄めて飲むのがオススメです
- 4) つくろうよ 週に二日は休肝日
- 5) やめようよ きりなく長い飲み続け
- 6) 許さない 他人(ひと)への無理強い・イッキ飲み
- 7) アルコール 薬と一緒に危険です
- 8) 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 9) 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 10) 肝臓など 定期検査を忘れずに



(公益社団法人アルコール健康医学協会資料)

「第15回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」  
(主催:ビール酒造組合)



学校賞

未成年者飲酒防止に  
関する優れた取組み

※民間団体や地域と協力・連携した  
未成年者飲酒防止啓発活動など

中学校: 鹿嶋市立高松中学校(茨城県)

担当者: 関根 幸枝先生

高等学校: 沖縄県立嘉手納高等学校

担当者: 長濱 直子先生

ポスター  
最優秀賞

中学生の部

船越 真樹子さん

仙台市立鶴谷中学校(宮城県)2年

スローガン  
最優秀賞

固い意志

「飲みません」と  
「飲ませません」

中学生の部

花澤 樹さん

磐田東中学校(静岡県)3年

なんで駄目?

飲酒のリスクを  
考えよう

高校生の部

福本 温さん

立命館宇治高等学校(京都府)3年



高校生の部

加藤 沙矢佳さん

岐阜県立岐阜総合学園高等学校3年

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

国税庁